

SDGs for School
produced by Think the Earth

22

あと7年。世界の動きを紹介しま
す。昨年末、世界最大規模の気候
会議であるCOP27が開催されま
した。メディアでは、気候変動の
影響に伴う損失と損害に対して支
援する措置を講じることや、その

あけましておめでと
うございます。今年で
3年目になるSDGs for
School×曹洞禅では、
全国から集まってくれ
た編集学生たちと、S
DGsの本質や、具体
的な行動のヒントにな
る内容を紹介していき
ます。今年もどうぞよ
ろしく願います。
さて、SDGsの達
成（2030年）まで

ための基金を設置することが発信
されていきました。私は、ガソリン
自動車から電気自動車（EV）に
移行する世界的なアクションをイ
ギリス政府が主導で宣言したこと
にワクワクしました。歴史を振り
返ると馬車から自動車への変容も
10年程度。あと数年で自動車の新
たな時代が始まる予感がしました。
（残念ながら今回、日本はこの宣
言に合意していませんが……）
さて、新年の第1号は、前回の
続きで、『てらスクール』らしい
SDGsの発信を目指し、「典座
教訓」という禅の教えを学んだ編
集学生たちが、その教えとSDG
sの本質をつなげた記事を書いて
発信することに挑戦しています。
どうぞ、ご覧ください。



○ふるとり
・東京都
・大学2年生

私が印象深かったのは「気づき」
の重要性についてです。食事をは
じめ日常生活の全てが修行である
が、それに気づかなければ意味が
無い。これは道元禅師の教えやS
DGsに限ることなく、私たちの
生活そのものに必要な視点である
と感じました。私たちは一つの物
事を一つの単純なものの方で見
てしまいがちですが、実際には多
くのことがつながっていることが
ほとんどだと思えます。修行の道
とは異なり、単純なものの方を
したとしても日常生活に意味が無
くなることはないでしょう。しか





し日常生活をより豊かなものとし、他者、そして世界全体に目を向ける時には多くの「気づき」が必要になるはずです。SDGsには様々な問題解決の目標というだけでなく、より多くの人に、問題があること自体を気づかせるといふ面もあります。まず問題があることを知らなければ、解決に向けた行動ができる訳がありません。世界の諸問題と日常生活との繋がりに気づき、何をすべきかを常に考えることが解決に向けて重要であると感じました。



○はるか
・秋田県
・高校2年生

小学生の時、給食の牛乳が床に

こぼれていたのを見た私は友人に「誰がこぼしたんだろ、汚いね」と言いました。すると友人は「じゃあ拭けばいいじゃん?」と言って嫌な顔ひとつせずそれを拭いていました。そのとき私は自分の心の狭さに気づかされたのですが、今回の勉強会でも同様のことを感じました。当時私は、自分がこぼしていないのになぜ自分が拭かなければならないのかと思っていましたが、自分が気になるのなら自分のために拭けば良いのはもちろんのこと、これが「修行」であることに気づけていなかったのだと思います。現在も同じような経験をする事が多々ありますが、それは自分を成長させてくれる「修行」でした。自分ばかりと悲観的



○みなみ
・東京都
・高校2年生

になるとそこで成長は止まってしまいますが、自分を成長させてくれるものだと前向きに捉えるとその分、成長できます。人は考え方が次第でどこまでも自分を変えていけるのだと気づかされ、私の世界が大いに広がりました。また「修行」は一人ではできず、人との関わりの中で生まれるものであるため、その関わりも大切にしていきたいと感じました。未来の地球、次世代の「ため」であるSDGsの活動も、私たちを成長させてくれる宝なのだ改めて確信することのできた、貴重な時間でした。





今回、「典座教訓」のお話で、「修行とは関連がないように見える料理の仕事であっても修行と違って大切に行う」「学びの宝庫である普段の生活でたくさんのご飯を見逃しているのはもったいない」という考えをお聞きして自分の生活を顧みることができました。そして、このような教えは最終的に、人に対して、身の回りの物に対して、自然環境に対して、謙虚になることの重要性に至るのではないかと考えました。お話の中で、若道元禅師が、お年寄りの典座に向かつて、「料理のようなあまり重要でない仕事は若い人に任せて、意義深い修行をしましょうよ」というと、典座は、「あなたは修行の意味が分かっていない」と返

しました。このやりとりは、料理も僧たちが修行を続けるために必要不可欠な仕事であると考え、料理をすること、料理をする人を敬うことの大切さを教えてくれました。日常生活でも、炊事や掃除をしてくださる方々に感謝したり、衣服や住居を傷つけないように使ったり、植物や動物を大切に思っ

て保護したりすることが出来ます。SDGsは、遠く離れた場所に住む人や自然環境を破壊することで成り立っている現在の社会活動を変えるための目標であるというふうにも見えます。人々と環境を敬い、「人にしていただく」、「自然を使わせていただく」という謙虚さを持って、SDGs達成に向

★貧困・教育・ジェンダーの問題を考える「布ナプキン作製プロジェクト」を継続しています！

8月に開催したイベントでは、環境負荷の少ないオーガニックコットンとアフリカの女性の貧困や教育の問題について学びました。そこから始まった、「布ナプキン作製プロジェクト」はイベントの参加学生や曹洞宗婦人会などに広がっています。個人・団体問わず協力してくれる方を募集します。

QRコード①で、ワークショップ開催報告を公開しています。

また、プロジェクトに関心がある方は、QRコード②のフォームよりご連絡ください。

